

開閉台 手動内ねじ式 水平ハンドル式

取扱説明書

施工・使用される前に必ず本製品の取扱いを規定する本取扱説明書を最後までお読みください。
また、本製品を取り扱われる方がいつでも見ることが出来る場所に保管してくださいませようお願い致します。



株式会社 **キッツエスジーエス**

はじめに

この度は、キッツエスジーエスの

開閉台 手動内ねじ式 水平ハンドル式 を

ご採用くださいますて、誠にありがとうございます。

本書は、お客様に開閉台を正しく、安全にお使いいただくための取扱いについて説明してあります。

お使いの前に必ずお読みいただき、お読みになったあとも

大切に保管してください。

警 告 表 示



警 告

取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



注 意

取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

本取扱説明書について

- ・ 内容について、ご不審な点やお気づきのことがありましたら、弊社窓口へご連絡ください。
- ・ 内容は予告なく変更する場合があります。

開閉台 手動内ねじ式 水平ハンドル式を 正しく安全にご使用いただくために

安全上のご注意

お使いの前にこの「注意事項」をお読みのうえ、安全に取扱ってください

受取り・運搬・保管時



注 意 …… 落下などによる事故防止

- (1) 開閉台の吊り上げ・玉掛けは、質量（重量）をご確認のうえ行い、吊荷の下には立ち入らない等、安全に十分注意して作業してください。
- (2) 開閉台を運搬する際、塗装面を傷付けないよう注意してください。損傷した場合は塗膜の補修を行ってください。損傷を放置すると腐食発生の原因になります。
- (3) ダンボール梱包の製品は、水に濡れると梱包強度が低下することがありますので、保管・取扱いには十分注意してください。

これらの注意を怠ると、傷害事故の発生するおそれがあります

据付け・試運転時



注 意 …… 落下・転落などによる事故防止

- (1) 開閉台の吊り上げ・玉掛けは、質量（重量）をご確認のうえ行い、吊荷の下には立ち入らない等、安全に十分注意して作業してください。
- (2) 作業を行う時は、足場の安全を確保し、不安定な管の上などでの行為は避けてください。

これらの注意を怠ると、転落などによる傷害事故の発生するおそれがあります

維持管理時



警 告 …… 酸欠などによる事故防止

- (1) 弁室や管内に入る時は、必ず酸素濃度を測定すると共に、臭気に注意してください。又、これらの場所で作業を行う時は、常に換気に気をつけてください。
- (2) 塗装作業を行う時は、火気および換気に気をつけてください。

これらの注意を怠ると、人身事故（死亡事故）の発生するおそれがあります



注 意 …… 傷害事故防止

- (1) 作業を行うときは、足場の安全を確保し、不安定な管の上などでの行為は避けてください。

これらの注意を怠ると、傷害事故の発生するおそれがあります

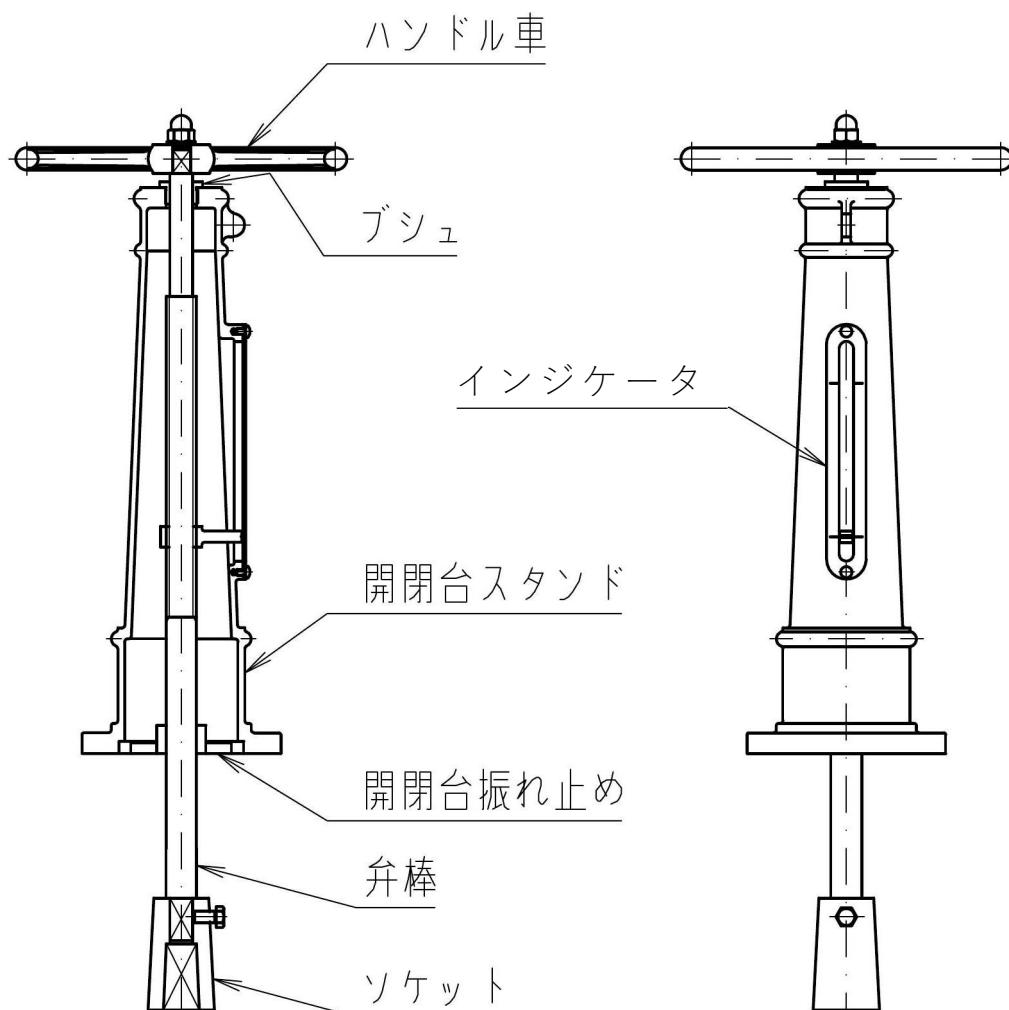
もくじ

■開閉台 手動内ねじ式 水平ハンドル式を正しく安全にご使用いただくために……巻頭

1. 構造及び部品名称	1
2. 受取り	2
2.1. 確認事項	
2.2. 受取り	
3. 運搬と保管	3
3.1. 運搬	
3.2. 保管	
4. 開梱	4
4.1. 開梱	
4.2. 開梱後の確認事項	
5. 据付け	5
6. 維持管理	7

1. 構造および部品名称

1. 各部の名称は下図に示す通りです。



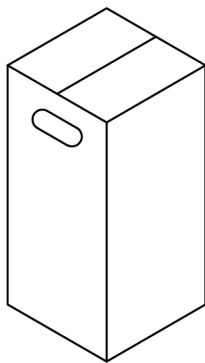
2. 受取り

2.1.確認事項

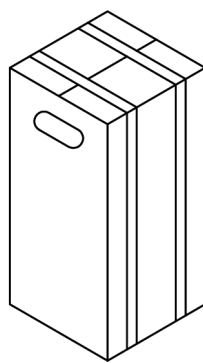
- (1) 製品がお手元に届きましたら、ご契約内容と相違ないかを確認してください。
- (2) 製品には出荷案内書（送り状）を付けています。
- (3) 製品には「安全上のご注意」を付けています。

2.2.受取り

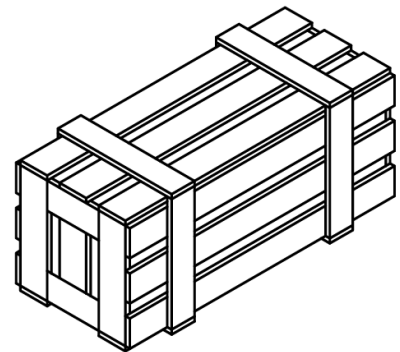
- (1) 製品の荷姿は、形式、寸法、質量（重量）、形状によってダンボールやすかし箱などで梱包をしています。
- (2) 受取りは、適切な吊り用具を準備して、ダンボールやすかし箱の「注意マーク」を確認して、当布などで養生し、正しく安全な作業を行ってください。
- (3) 製品は、投げ出し、落下、引きずり、倒し等の衝撃を与えないように取扱ってください。
- (4) 受取りの荷姿例は次の通りです。



取っ手を持って
ください。



バンドを吊らず
に取っ手を持っ
てください。



すかし箱の脚の外側を2本
のスリングベルトで吊ってくださ
い。
なお、フォークリフトのある現場で
はフォークリフトの使用をお勧めし
ます。

3. 運搬と保管

3.1. 運搬

- (1) 製品の移動や据付けをする現場までの運搬は、受取られた梱包、荷姿状態で行うことをおすすめいたします。
- (2) 運搬中に製品が損傷しないよう、養生してください。
- (3) 取扱いは、「**2. 受取り**」と同様に行ってください。

3.2. 保管

- (1) 据付けするまでの期間は、開梱しないで保管することをおすすめします。
- (2) 保管場所は、屋内の風通しのよい冷暗所としてください。雨や直射日光などの環境下では、製品劣化の原因となります。

環 境	劣 化 の 種 類
雨	外観劣化
直射日光	塗装の変色劣化、ゴムの物性劣化

- (3) やむを得ず、屋外で保管する場合は、シートなどで覆い、雨、直射日光、ほこりから保護してください。

4. 開梱

4.1.開梱

(1) 開梱は次の方法で行ってください。

梱 包 材		開 梱 方 法
ダンボール		外周のバンドをナイフなどで切断して、開閉台を取り出してください。手などを傷つけないようご注意ください。
ダンボール・台付		外周のバンドをナイフなどで切断して、ダンボールを引き上げてください。
すかし箱	立 置	側板を台より外して、すかし箱を引き上げてください。
	横 置	天板を外して、開閉台を取り出してください。

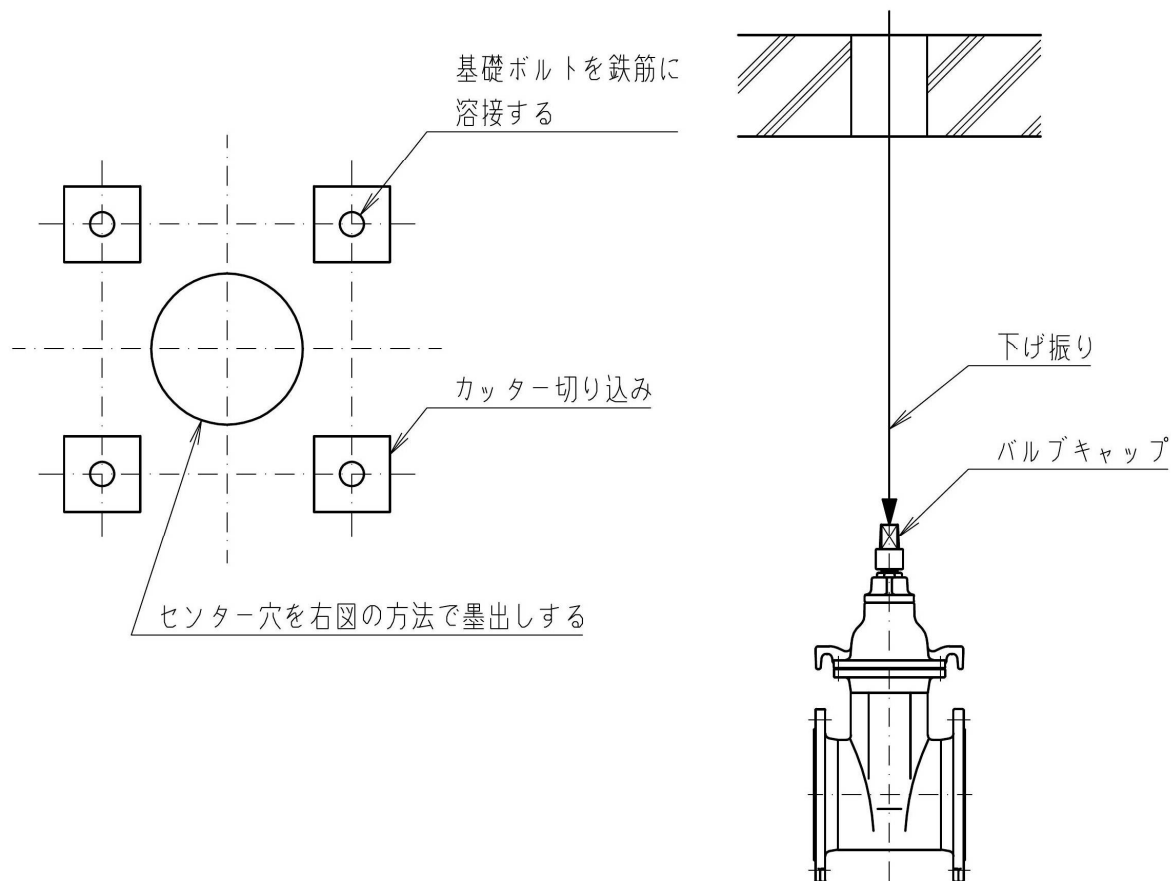
- (2) 製品は、ワイヤーロープで直接吊らずに当布等で養生して取扱ってください。
スリングベルトの使用をおすすめいたします。
- (3) 吊り作業を正しく、安全に行うために、玉掛けの資格取得者が取扱ってください。

4.2.開梱後の確認事項

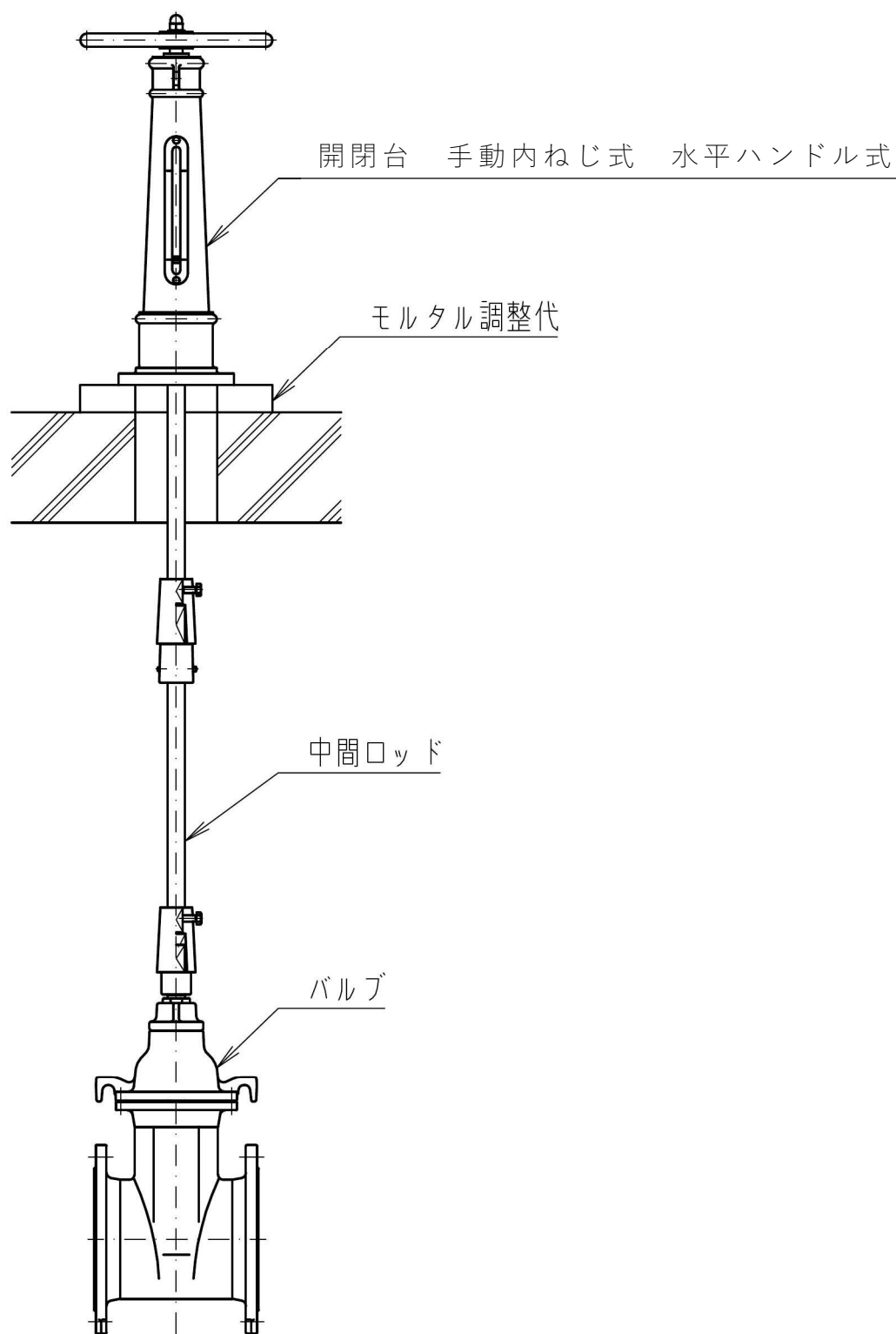
- (1) 開梱しますと、製品全体がよく見えますので、外観に異常な箇所が無いかを確認してください。
- (2) 異物などの付着を避けるために、据付けまでは、「 3. 運搬と保管 」と同様に正しく行ってください。

5. 据付け

1. 使用するバルブの種類、呼び径、開閉方向、開閉台の仕様が同じものか確認してください。
2. 開閉台の芯出しは、弁棒スラブ貫通部穴から下げ振りで、バルブキャップのセンターに成るように開閉台基礎部を墨出ししてください。



3. バルブは全開にしてください。
4. 開閉台の取付面から中間ロッドのキャップ天までの寸法と開閉台弁棒出し寸法を確認してください。
5. 開閉台の開度指示計を全開位置にします。
6. バルブ弁軸、中間ロッドと開閉台弁棒を一直線上に設置し水平を確認後、基礎ボルトを鉄筋に溶接し、基礎ボルト・ナットで固定してください。また、開閉台は垂直になるように設置してください。弁軸と開閉台弁棒がズレていたり、垂直でない場合は、開閉が非常に重くなります。
ハンドル車とブシュの間に隙間を設けてください。(モルタル等で調整してください。)
開閉台を操作して開閉指示針が全開全閉の位置が正しく指示しているか、また開閉がスムーズかどうか確認してください。
7. 塗装の損傷箇所があれば、補修してください。



設置参考図

6. 維持管理

開閉台 手動内ねじ式 水平ハンドル式を安全にお使い頂くために、定期的に点検をしてください。

定期点検

内容	周期	処置
・各ボルト・ナット部の締め付け	1 年	各ボルト・ナットの増し締め
・外観	1 年	損傷箇所の塗装又は取替え
・作動試験	1 年	開閉作動を確認 振動、異常音の無い事を確認

修理及び部品の交換が必要な場合は、機能維持のため、弊社にご相談ください。

ISO9001 ISO14001 ISO45001 認証取得(本社工場)



株式会社 **キッツエスジーエス**

本社工場 / 〒522-0027

滋賀県彦根市東沼波町928

TEL 0749-23-3131(代) FAX 0749-22-0687(代)

■ 東京支店 / 〒160-0023

東京都新宿区西新宿4-2-18 三共西新宿ビル

東京営業所

TEL 03-3370-6586 FAX 03-3375-6915

■ 名古屋支店 / 〒460-0002

名古屋市中区丸の内1-9-16 丸の内Oneビルディング

名古屋営業所

TEL 052-222-7282 FAX 052-222-7432

■ 大阪支店 / 〒550-0013

大阪市西区新町1-27-5 四ツ橋クリスタルビル

大阪営業所

TEL 06-6533-0471 FAX 06-6536-0555

○ 札幌営業所 / 〒060-0004

札幌市中央区北4条西13丁目1-22-803

TEL 011-242-8871 FAX 011-242-3221

○ 仙台営業所 / 〒984-0816

仙台市若林区河原町1-5-1 ハイッ河原町

TEL 022-217-1312 FAX 022-217-1320

○ 中国四国営業所 / 〒700-0913

岡山市北区大供2-1-1 ハスバリビル

TEL 086-227-2510 FAX 086-227-2515

○ 九州営業所 / 〒812-0008

福岡市博多区東光2-20-16

TEL 092-409-0996 FAX 092-409-0998